

事務事業実績測定調査

10210010006	グループホーム運営安定化補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名	障害者社会参加促進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	枚方市グループホーム運営費補助金交付要綱、枚方市グループホーム新規開設等整備補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	運営の安定により、十分な人員や設備の改善が実現し、需要を満たすサービスの提供が確保され、質の高いサービスが提供されている。				
事業概要	<p>・枚方市内のグループホームに生活支援員が常駐又は巡回し、その業務を行った場合、利用者の障害の程度に応じて以下のとおり補助金を交付。① ②～⑤以外の障害者 利用者1人1日につき100円② 身体障害者手帳総合等級1・2級 同500円③ 療育手帳A 同500円④ 精神障害者保健福祉手帳1級 同500円⑤ 重度心身障害者(身体障害者(肢体)1・2級と療育手帳Aを併せ持つ方) 同900円</p> <p>・2012年度からグループホームの設置を促進するため、開設・増設時の整備補助を行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	入居者の利用満足度 【算出式:入居者定員の増加数/月当り利用者数前年度比×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	87.5	87.5	87.5		
実績	113.87					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.40	0.40
正職員数	0.40	0.40	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	3,180	3,207
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	33,183	29,979	37,148
■事務事業の総計(千円)	36,333	33,159	40,355
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	36,333	33,159	40,355

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	113.87%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	共同生活援助(グループホーム)運営安定化補助事業:88住居 69,110件 新規開設等に係る整備補助:7住居	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	昨年度に引き続き継続して実施する。	

事務事業実績測定調書

10210010007	移動支援(ガイドヘルプサービス)事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名	障害者社会参加促進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、枚方市障害者移動支援事業実施要綱、枚方市障害児通学支援事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害があっても自らの意思により日常生活上、余暇活動などの外出ができ、地域での自立生活及び社会参加が促進されている。				
事業概要	屋外での移動が困難な障害者について、外出のための支援を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	利用実時間数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	時間
目標(予測)	—	225,000	225,000	225,000		
実績	225,475					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.64	2.63	2.63
正職員数	2.00	2.00	1.83
非正規職員数(計)	0.64	0.63	0.80
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.30	0.80
臨時職員数	0.64	0.33	0.00
■人件費総額(千円)	16,984	17,092	14,671
正職員人件費(換算額)	15,748	15,902	14,671
非正規職員人件費(計)	1,236	1,190	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	549	0
臨時職員人件費(実額)	1,236	641	0
■直接経費(千円)	388,593	433,201	404,507
■事務事業の総計(千円)	405,577	450,293	419,178
国庫支出金	108,917	93,984	94,022
府支出金	54,083	48,353	45,968
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	5
一般財源	242,577	307,956	279,183

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	85.82%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	令和元年度実績 移動支援 支給決定者数 2,154人 利用時間数 218,956時間 通学支援 支給決定者数 54人 利用時間数 6,519時間	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	事業を継続実施し、外出時を支援することで社会参加の促進を図る。	

事務事業実績測定調書

10210010008	基準該当事業所補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		～		
根拠法令等	枚方市基準該当障害福祉サービス運営補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険適用のデイサービスセンター等の基準該当事業所としての指定を促進することにより、在宅の重度身体障害者等の入浴等の機会を確保できている。				
事業概要	障害者が介護保険適用のデイサービスセンターを利用した場合、利用者1人当たり1日につき1,500円、重症心身障害者(児)については2,000円を補助する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	基準該当福祉サービス利用日数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	—	7,500	7,500	7,500		
実績	6,009					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	10,451	9,983	9,618
■事務事業の総計(千円)	11,238	10,778	10,420
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,238	10,778	10,420

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	80.12%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	在宅の重度身体障害者等の入浴を支援する事業として定着している。 利用件数:6,009日	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も補助金を交付することにより、運営の安定化を図る。	

事務事業実績測定調書

10210010009	京阪ブロック身体障害者体育大会運営補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1967 (S42) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	大会参加により、障害者本人や家族の交流、親睦が促進され、体力の向上や、社会参加活動につながっている。				
事業概要	<p>京阪ブロック障がい者スポーツ・レクリエーション大会を通じて、参加者の健康の維持増進及び交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加の障害者や家族の交流、親睦。 ・スポーツ、レクリエーションを通じての体力の向上。 ・大会参加を通じての社会参加活動。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	300	300	300		
実績	293					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	200	200	200
■事務事業の総計(千円)	594	598	601
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	594	598	601

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	97.70%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	スポーツやレクリエーションを通じて障害者やその家族の体力の向上を図り、北河内7市と東大阪市合わせ8市の参加者の親睦と交流の輪を広げる場となった。2019年度は寝屋川市が幹事市。交野市立総合体育館(いきいきランド交野)で開催。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	継続実施し、スポーツを通じて障害者や家族、参加者の交流の輪を広げる。	

事務事業実績測定調書

10210010011	市立障害者社会就労センター施設維持管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2003(H15)年度		～		
根拠法令等	枚方市障害者社会就労センター条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生産活動にかかる知識及び能力の向上に伴い、受取り工賃額が増加している。				
事業概要	通常の事業所に雇用されることが困難な障害者のうち通常の事業所に雇用されていた障害者に生産活動その他の活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のため必要な訓練その他の必要な支援を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事費等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	66					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,015	11,554	7,967
■事務事業の総計(千円)	5,802	12,349	8,769
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	929
一般財源	5,802	12,349	7,840

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	151.50%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	指定管理者制度により、通所者の生産活動にかかる知識及び能力の向上を図った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	継続実施	

事務事業実績測定調書

10210010012	社会福祉審議会障害福祉専門分科会運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	社会福祉法、枚方市社会福祉審議会条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適正かつ効果的な運営を図る				
事業概要	枚方市社会福祉審議会 障害福祉専門分科会を開催し、枚方市障害福祉計画、枚方市障害児福祉計画及び枚方市障害者計画の策定、計画の進捗状況の分析・評価をした上で、必要な対応を行う。				

2. 指標推移

指標種類					
指標の説明					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.50	0.20	0.20
正職員数	0.50	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,937	1,590	1,603
正職員人件費(換算額)	3,937	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,082	0	0
■事務事業の総計(千円)	8,019	1,590	1,603
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,019	1,590	1,603

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	
事務事業の実績	8月28日に第1回障害福祉専門分科会を開催し、枚方市障害福祉計画、枚方市障害児福祉計画及び枚方市障害者計画の策定、計画の進捗状況の分析・評価を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度に枚方市障害福祉計画(第6期)、枚方市障害児福祉計画(第2期)及び枚方市障害者計画(第4次)を策定。	

事務事業実績測定調査

10210010013	障害児相談・通所支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2012 (H24) 年度		～		
根拠法令等	児童福祉法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害児の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができる。				
事業概要	<p>児童福祉法に基づく、障害児通所支援サービス、障害児相談支援サービスの提供。障害児通所支援サービスについては以下のとおり。(1) 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。療育の観点から集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の障害児が対象</p> <p>(2) 医療型児童発達支援 児童発達支援(日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練)及び治療を行う。肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練又は医療的管理下での支援が必要であると認められた障害児が対象。</p> <p>(3) 放課後等デイサービス 授業終了後または学校の休業日に、施設に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を行う。小・中学校、高等学校、支援学校等に就学している障害児が対象。</p> <p>(4) 保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行う。保育所、幼稚園、小学校、支援学校、認定こども園、その他児童が集団生活を営む施設に通う障害児が対象。</p> <p>(5) 居宅訪問型児童発達支援[児童福祉法] 障害児の居宅を訪問して日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与生活能力の向上のために必要な訓練その他必要な支援を行う。重症心身障害児などの重度の障害児等であって、障害児通所支援を受けるために外出することが著しく困難な障害児が対象。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	障害児支援サービスの実利用人数(児童発達支援)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	225	230	235		
実績	407					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.14	0.15	0.15
正職員数	0.10	0.15	0.15
非正規職員数(計)	0.04	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.04	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	850	1,193	1,203
正職員人件費(換算額)	787	1,193	1,203
非正規職員人件費(計)	63	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	63	0	0
■直接経費(千円)	1,384,661	1,521,221	1,732,353
■事務事業の総計(千円)	1,385,511	1,522,414	1,733,556
国庫支出金	698,995	777,711	876,201
府支出金	344,074	374,641	431,051
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	800	1,500
一般財源	342,442	369,262	424,804

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	185.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	令和元年度 障害児支援サービス(支給決定人数(令和2年3月末現在)、利用実績) 障害児相談 216人 児童発達支援 313人 29,940日 医療型児童発達支援 1人 208日 放課後デイサービス 840人 118,336日 保育所等訪問支援 120人 1,533日	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	根拠法令に基づき適正に実施	

事務事業実績測定調査

10210010014	障害者タクシー基本料金補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1991 (H03) 年度		～		
根拠法令等	枚方市福祉タクシー基本料金助成事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	在宅の障害者で福祉タクシーを利用する者の経済的負担が軽減され、日常生活の利便等が増進している。				
事業概要	対象者にタクシー基本料金相当分(リフト付タクシーは大型車相当額)のチケットを年24枚交付(月2枚)				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	対象者における福祉タクシー利用率 【算出式: 申請者数/身体障害1・2級療育A×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	32	32	32		
実績	28.8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.30	0.30
正職員数	0.30	0.30	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,385	2,405
正職員人件費(換算額)	2,362	2,385	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	17,682	17,363	16,735
■事務事業の総計(千円)	20,044	19,748	19,140
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	20,044	19,748	19,140

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	令和元年度実績 委託事業者数 56事業所 助成利用券申請者数 2,406人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	昨年度に引き続き実施する。	

事務事業実績測定調書

10210010015	障害者施設等整備補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実に努めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	枚方市障害者施設等整備費補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内の障害者施設等の整備が促進され、市民ニーズに応じた十分な量の福祉サービスの提供が行われている。				
事業概要	国が定める社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱に基づき、補助基準額を上限に、整備に要する対象経費の4分の3の金額(国2分の1、枚方市4分の1)を補助する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	障害者施設の適正な整備 【算出式: 整備施設数/障害福祉計画における整備目標(短期入所・グループホーム)×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	14	14	14		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.80	1.00	0.80
正職員数	0.80	1.00	0.80
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,356	7,951	6,414
正職員人件費(換算額)	6,299	7,951	6,414
非正規職員人件費(計)	57	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	57	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	39,414	34,090	0
■事務事業の総計(千円)	45,770	42,041	6,414
国庫支出金	26,275	22,725	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	19,495	19,316	6,414

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	<p>障害福祉サービス事務所「やなぎ寮(みすぎ寮)」にスプリンクラーの整備の内示通知後、工事業者へ設計図書を交付する段階において、事前協議の仕様では消防法基準に適合しない事が発覚し、著しい仕様の変更が生じる事となった。仕様変更後の複数の選択肢についても協議を行ったが、入居者の安全面の確保の問題や、工事費用の大幅な増加、工事の変更が認められなかった事があり、申請を取り下げる申し出があったため、実績が0件。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	継続実施	

事務事業実績測定調書

10210010016	障害者施設入所措置事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2012(H24)年度		～		
根拠法令等	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市の措置で障害者支援施設等に入所させ、障害者の福祉の向上が図られている。				
事業概要	障害者支援施設等への入所を必要とする障害者が、やむを得ない事由により契約で障害福祉サービスを受けることが著しく困難な場合、市による措置入所手続きを行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	やむを得ない事由による入所措置件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	1	1	1	1		
実績	1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	137	0	133
■事務事業の総計(千円)	924	795	935
国庫支出金	36	0	0
府支出金	34	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	854	795	935

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	障害者虐待を事由とした一時避難による安全の確保を目的に、市による措置入所手続きを行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	緊急時に備え、今後も継続して事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10210010017	障害者歯科診療補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1992 (H04) 年度		～		
根拠法令等	枚方市障害者歯科診療運営補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の一般歯科での受診・診療が困難な障害者(児)の歯科診療の機会を確保できている。				
事業概要	枚方市歯科医師会に対し、障害者(児)歯科診療運営補助金を交付することにより、障害者(児)歯科診療の円滑かつ効果的な運営を図る。診療は、枚方休日歯科急病診療所(保健センター内)にて行う。 枚方休日歯科急病診療所(保健センター内)で毎週木曜日の午後1時～5時及び月2回土曜日の午後2時～6時に診察を実施。予約制。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	受診者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	750	750	750	750		
実績	783					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.02	0.02	0.02
正職員数	0.02	0.02	0.02
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	157	159	160
正職員人件費(換算額)	157	159	160
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	8,944	11,180	13,416
■事務事業の総計(千円)	9,101	11,339	13,576
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,101	11,339	13,576

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	104.44%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	枚方市歯科医師会に対し、障害者(児)歯科診療運営補助金を交付することにより、障害者(児)歯科診療の円滑かつ効果的な運営を図ることができた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	昨年度に引き続き継続して実施する	

事務事業実績測定調査

10210010018	障害者手帳交付事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1949 (S24) 年度		～		
根拠法令等	身体障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法、大阪府療育手帳に関する規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害者手帳が交付されることで、障害者の社会参加促進が図られ、地域で自立した生活を送ることができている。				
事業概要	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付手続きを行う。身体障害者の障害程度の審査に関する調査審議、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第2項に規定する医師の指定等を行う枚方市社会福祉審議会 審査部会の運営。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	手帳交付数(身体障害者手帳)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	1,500	1,500	1,500		
実績	1,340					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.32	3.72	3.72
正職員数	2.68	1.50	1.35
非正規職員数(計)	0.64	2.22	2.37
再任用職員数	0.00	0.50	0.50
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.70	0.80
臨時職員数	0.64	1.02	1.07
■人件費総額(千円)	22,281	17,411	13,372
正職員人件費(換算額)	21,102	11,927	10,823
非正規職員人件費(計)	1,179	5,484	2,549
再任用職員人件費(換算額)	0	2,461	2,549
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	1,282	0
臨時職員人件費(実額)	1,179	1,741	0
■直接経費(千円)	2,844	2,581	3,065
■事務事業の総計(千円)	25,125	19,992	16,437
国庫支出金	0	0	0
府支出金	8,051	10,614	12,660
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	300
その他	0	0	0
一般財源	17,074	9,378	3,477

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>障害者の社会参加の促進と自立支援の基盤となる手帳交付業務を適切に行うため、平成26年度より設置した枚方市社会福祉審議会審査部会において、身体障害者の障害程度の審査に関する調査審議並びに身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15号第2項に規定する医師の指定等を行う。</p> <p>精神障害者保健福祉手帳においては、平成30年7月1日に大阪府より権限移譲を受け、市民に対して交付する期間を短縮できた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	平成26年度に設置した枚方市社会福祉審議会内の審査部会の運営及び障害者手帳の適切な交付事務を円滑に行う。	

事務事業実績測定調査

10210010019	障害者就労支援強化事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名	障害者就労支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1986(S61)年度		～		
根拠法令等	各事業要綱、決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	福祉施設から一般就労を希望する障害者に対し、その適性とニーズに沿った就労をマッチングし職場定着が実現されること、及び福祉施設で働く障害者の工賃向上が図られ、障害者の自立と社会参加が実現されている。				
事業概要	福祉施設から一般就労を希望する障害者に対し、個々人の適性とニーズに沿った就労マッチングから職場定着まで地域の就労支援機関と連携しながら人的支援等を実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	福祉施設から一般就労へ移行した障害者の人数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	62	66	70	75		
実績	75(暫定値)					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.55	0.40	0.40
正職員数	0.55	0.40	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,101	4,973	3,207
正職員人件費(換算額)	4,331	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	1,770	1,793	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,770	1,793	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	7,231	4,986	4,687
■事務事業の総計(千円)	13,332	9,959	7,894
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,332	9,959	7,894

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	大阪府で取りまとめ中	
事務事業の実績	大阪府で取りまとめ中のため、記入不可能	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	大阪府で取りまとめ中のため、記入不可能	

事務事業実績測定調書

10210010020	障害者住宅改造補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H07) 年度		～		
根拠法令等	枚方市重度障害者住宅改造助成事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住宅改造を実施することで、重度障害者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができている。				
事業概要	便所・浴室・玄関・廊下・階段・台所・居室等の改造で手すりの取り付けや段差解消の助成を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	利用者満足度					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	85	85	85		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	19,961	19,935	21,707
■事務事業の総計(千円)	20,748	20,730	22,509
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	20,748	20,730	22,509

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	住宅改造を実施することで、重度障害者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができるようになった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	補助金の交付決定に必要な調査事務を社会福祉協議会に委託しているが、令和3年度以降は直営とする。	

事務事業実績測定調査

10210010022	障害者総合支援法に基づく自立支援給付事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2006 (H18) 年度		~		
根拠法令等	障害者総合支援法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な障害福祉サービスの給付等の支援により、障害者の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができる。				
事業概要	障害者の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付等の支援を行う。 障害者総合支援法に基づく、障害区分認定、介護給付・訓練等給付、補装具、更生医療の給付及び自立支援法対応システムの管理				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	障害支援区分認定にかかる審査件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	864	1381	777		
実績	686					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	16.07	20.67	14.17
正職員数	9.65	10.00	9.98
非正規職員数(計)	6.42	10.67	4.19
再任用職員数	0.00	0.50	0.50
任期付職員数	0.00	3.00	0.00
非常勤職員数	2.25	3.00	2.40
臨時職員数	4.17	4.17	1.29
■人件費総額(千円)	88,411	99,569	82,559
正職員人件費(換算額)	75,984	79,510	80,010
非正規職員人件費(計)	12,427	20,059	2,549
再任用職員人件費(換算額)	0	2,461	2,549
任期付職員人件費(換算額)	0	12,105	0
非常勤職員人件費(実額)	4,624	5,493	0
臨時職員人件費(実額)	7,803	0	0
■直接経費(千円)	7,451,012	7,940,149	8,498,997
■事務事業の総計(千円)	7,539,423	8,039,718	8,581,556
国庫支出金	3,509,100	3,752,952	3,924,262
府支出金	1,747,129	1,859,589	1,967,302
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	646	290	331
一般財源	2,282,548	2,426,887	2,689,661

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>障害支援区分は3年ごとに更新手続きが必要となるが、更新申請がピークになる年度には申請件数が大幅に増加する(H30年度・R3年度・・・)。 また、年間150件程度の新規申請があり、次回の更新時にはその分が更新件数に上乗せされることから、更新件数が多い年度以外でも、審査件数は増加する一方となっている。</p> <p>審査件数 H28年度 595件 H31(R1)年度 686件 H29年度 713件 H30年度 1,203件</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	審査件数は増加傾向にあり、従来の体制のままでは対応が難しくなっている。更新件数がピークとなるR3年度に向けて、調査員の確保や事務局の体制等について早急に検討していく必要がある。	

事務事業実績測定調書

10210010023	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、枚方市訪問入浴事業実施要綱、枚方市日中一時支援事業実施要綱、枚方市障害者日常生活用具給付事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な障害福祉サービスの給付等と併せて実施、障害者の適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活が営むことができる。				
事業概要	スポーツ教室などの障害者社会参加促進事業、身体障害者の訪問入浴、身体障害者の日常生活用具、家族介護者の急用や休息のための日中一時支援				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	地域生活支援事業に対する利用満足度 【算出式: 実行委員満足数/委員数×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	85					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.50	3.30	1.29
正職員数	2.50	2.30	0.85
非正規職員数(計)	1.00	1.00	0.44
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	1.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.44
■人件費総額(千円)	24,093	20,118	6,814
正職員人件費(換算額)	19,685	18,287	6,814
非正規職員人件費(計)	4,408	1,831	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	4,408	1,831	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	155,810	183,620	189,103
■事務事業の総計(千円)	179,903	203,738	195,917
国庫支出金	79,539	97,619	94,150
府支出金	39,104	45,565	47,074
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	168	69
一般財源	61,260	60,386	54,624

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	85.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>その他、手話講習会、手話ステップアップ講座を開催し、手話通訳者のレベルアップを図ったほか、点字講習会、音訳講習会、要約筆記体験講座を開催した。また、スポーツ・レクリエーション教室(卓球・ボッチャ)を実施し、合計2,136人が参加した。</p> <p>ふれあいスポーツ交流会 7月6日開催 292人参加 ジョイフルクリスマス会 12月15日開催 110人参加</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	障害福祉サービス等を利用し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、今後も各種事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10210010024	身体障害者等の地域生活支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度		～		
根拠法令等	枚方市難聴児特別補聴器給付事業実施要綱、枚方市身体障害者配食サービス事業実施要綱、障害者緊急通報システム設置要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	身体障害のある方の地域生活の困難等が軽減されている。				
事業概要	<p>身体障害のある方の地域生活を支援するため、障害の特性に応じて必要な支援を実施する。</p> <p>火災予防点検:在宅障害者の居宅を点検</p> <p>緊急通報装置:在宅障害者の居宅に緊急通報装置を設置</p> <p>配食サービス:食事宅配手数料を助成</p> <p>難聴児補聴器交付:軽度・中度の難聴児に対し、特別補聴器購入費用等を助成</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	地域生活支援事業に対する利用満足度 【算出式:満足と回答/利用者回答数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	50	50	50		
実績	-	-	-	-		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	0.60	0.60
正職員数	0.60	0.60	0.60
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,724	4,771	4,810
正職員人件費(換算額)	4,724	4,771	4,810
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,306	1,347	1,112
■事務事業の総計(千円)	6,030	6,118	5,922
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	5	6	2
その他	486	494	505
一般財源	5,539	5,618	5,415

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	
事務事業の実績	火災予防点検:21名の対象者に通知し、令和2年3月10日及び12日に、枚方消防署、枚方東消防署、大阪ガスの協力のもと、希望者5名に実施。 緊急通報装置:設置台数 34台 配食サービス:利用人数2人、配食数303食 難聴児補聴器交付:新規交付決定 2人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	身体障害のある方の地域生活を支援するため、制度の周知に努め、継続実施していきます。	

事務事業実績測定調査

10210010025	成年後見制度利用支援事業(障害者)		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、成年後見制度に基づく市長の審判請求に関する要綱、枚方市成年後見制度等利用支援金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市長が成年後見制度活用の審判請求等を行い、審判請求に係る費用の全部または一部を助成することや後見人等への報酬の支払いが困難な障害者に対して支援金を交付するなど成年後見制度が円滑に利用できている。				
事業概要	<p>地域で暮らし、障害により判断能力が十分でなく、親族等による援助が見込めない障害者等の権利擁護のため、成年後見制度が円滑に利用できるように支援する。</p> <p>平成13年度より、障害により判断能力が十分でなく、親族等による援助が見込めない障害者等の権利擁護のため、市長が成年後見制度活用の審判請求を行い、審判請求に係る経費の全部または一部を助成する。また、平成27年度より、生活保護受給者等、後見人等への報酬の支払いが困難な被後見人に対し支援金を交付する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	市長が審判請求した成年後見制度及び後見人等々への報酬支払が困難な被後見人対象者数の累計					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	19	22	25	28		
実績	19					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.30	0.30
正職員数	0.30	0.30	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,385	2,405
正職員人件費(換算額)	2,362	2,385	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	6	166	222
■事務事業の総計(千円)	2,368	2,551	2,627
国庫支出金	2	287	110
府支出金	0	41	54
市債	0	0	0
受益者負担	7	3	0
その他	0	0	0
一般財源	2,359	2,220	2,463

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>成年後見制度に関するパンフレットを窓口に用意し、情報を必要とされる市民に対し配布、及び成年後見制度の仕組みや手続き等、情報提供に努めるとともに、生活保護受給者等で後見人等への報酬の支払いが困難な被後見人に対し支援金を交付した。</p>	
今後の方向性	<p>拡充・重点化</p>	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き、権利擁護等で相談のあった事案について、必要に応じ市長申立ての手続きを行う。 また、令和2年度中に策定を予定している成年後見制度利用促進基本計画(健康福祉総務課所管)の内容に合わせ、現行では生活保護受給者等に限定している支援金交付対象者の拡充等について検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10210010026	精神障害者通所交通費補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1992 (H04) 年度		～		
根拠法令等	枚方市在宅精神障害者通所交通費補助事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	精神障害者共同作業所への通所により、在宅精神障害者の社会参加が促進されている。				
事業概要	精神障害者への交通費割引制度が整備されていない中で、他障害との均衡を確保し、在宅精神障害者への社会参加を促進する。 精神障害者共同作業所に通所している在宅精神障害者に対して、交通費を1日あたり110円補助することにより、在宅精神障害者の社会参加を促進する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	精神障害者及び難病患者で就労系事業所(就労継続支援A型除く)に通所している者の利用割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	200	28	28	28		
実績	192					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.30	0.30
正職員数	0.30	0.30	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,385	2,405
正職員人件費(換算額)	2,362	2,385	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	2,007	2,017	2,245
■事務事業の総計(千円)	4,369	4,402	4,650
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,369	4,402	4,650

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	96.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	日中活動系事業所に公共交通機関を使用し通所している精神障害者及び難病患者に対して、令和元年度は延べ394人に対して、1日あたり110円の交通費の補助を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	身体障害者、知的障害者にはバス運賃の減額があるが、精神障害者及び難病患者には同様の減額制度がない。また、近距離の鉄道の運賃割引もない(身体障害者、知的障害者は単独乗車片道100キロを超える場合減額あり)。障害者の範囲が拡大される中、公平性の確保の観点から、新たな代替施策を含めた今後の施策のあり方について検討を行う。	

事務事業実績測定調書

10210010027	精神障害者等の地域生活支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002 (H14) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	相談・助言等により、精神障害者が地域で生活するうえでの困りごとが解消されている。				
事業概要	地域で生活する精神障害者に対し社会復帰等に係る相談窓口精神保健福祉士を配置し、専門的な立場から相談・助言を行い、精神障害者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図る				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談件数に対する困りごとが解消された割合 【算出式: (福祉サービスにつながった件数/新規相談数) × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	33	33	33	33		
実績	50					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.02	0.02	0.02
正職員数	0.02	0.02	0.02
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	157	159	160
正職員人件費(換算額)	157	159	160
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	9,555	9,555	9,644
■事務事業の総計(千円)	9,712	9,714	9,804
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,712	9,714	9,804

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	151.51%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	精神障害のある方の制度利用や日常生活に係る相談に対応し、目標を上回る実績となった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	目標を上回る実績となったことから、引き続き、地域で生活する精神障害者に対し、精神保健福祉士を相談窓口配置することにより専門的な立場から相談・助言を行い、精神障害者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図る。	

事務事業実績測定調査

10210010028	特別障害者手当等給付事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1975 (S50) 年度		~		
根拠法令等	特別児童扶養手当等の支給に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各手当の支給により、自立に向けた所得が保障されている。				
事業概要	在宅の、最重度障害者に「特別障害者手当」を、最重度障害児に「障害児福祉手当」を、障害基礎年金へ移行できなかった人に「福祉手当(経過措置分)」を支給することにより、自立に向けた所得保障に資する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	1年間に手当を交付した支給件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	9,200	9,200	9,200	9,200		
実績	9,428					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.70	0.65	0.65
正職員数	0.70	0.65	0.65
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,512	5,168	5,211
正職員人件費(換算額)	5,512	5,168	5,211
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	207,075	209,368	218,932
■事務事業の総計(千円)	212,587	214,536	224,143
国庫支出金	154,284	158,284	163,843
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	50	496	0
一般財源	58,253	55,756	60,300

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	102.47%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	手当給付事務 特別障害者手当 月額 H31.4~ 27,200円 障害児福祉手当 月額 H31.4~ 14,790円 福祉手当(経過措置分) 月額 H31.4~ 14,790円	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	根拠法令に従い適正に実施する	

事務事業実績測定調査

10210010029	難病患者等の地域生活支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1980 (S55) 年度		~		
根拠法令等	(国)小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	用具の給付により、日常生活が便利にまたは容易となっている。				
事業概要	<p>障害者総合支援法の改正で、平成25年4月より、障害者の定義に難病患者が追加されたことに伴い、ホームヘルプサービスや短期入所サービスの提供は自立支援給付に移行し、日常生活用具の給付のみを行う。</p> <p>医療保険上の世帯が市民税非課税世帯に属する難病患者等に対し、療養費の助成として、月額2,200円を9月末及び3月末の年2回、支給を行う。(平成30年度に未払いのみ処理し、令和元年度より完全修了)</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	交付件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	10	10	10		
実績	4					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.70	0.40	0.40
正職員数	0.70	0.40	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,512	3,180	3,207
正職員人件費(換算額)	5,512	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	20,372	385	278
■事務事業の総計(千円)	25,884	3,565	3,485
国庫支出金	67	102	158
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	25,817	3,463	3,327

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	40.00%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	小児慢性特定疾患日常生活用具給付は、延べ4件で計278,078円の給付決定を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	小児慢性特定疾患日常生活用具給付事業については、引き続き給付を行う。	

事務事業実績測定調書

10210010031	福祉移送サービス共同配車事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		～		
根拠法令等	道路運送法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	福祉移送サービスの提供を通じて、障害者等が安心して外出できる社会が実現できている。				
事業概要	<p>〈福祉移送サービス〉事前に会員登録、利用予約すれば、発着地のいずれかが枚方市内にあれば、タクシー運賃のおおむね2分の1以下で移送サービスが受けられる。</p> <p>〈共同配車事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が個々の福祉移送サービス事業所に会員登録するのではなく、共同配車センターに会員登録すると、自分の条件に合う福祉移送サービス事業所又は介護タクシー事業所から車両を配車 ・一般持ち込み車両(セダン含)の適正な運行・安全を一元管理 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	福祉移送サービス共同配車事業に対する利用満足度 【算出式:】満足した利用者/共同配車事業を利用した利用者					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	回数
目標(予測)	470	490	510	530		
実績	452					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,631	3,684	3,724
■事務事業の総計(千円)	4,418	4,479	4,526
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,418	4,479	4,526

4. 実績測定

	実績／目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	96.17%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	令和元年度は、利用実人数146人に対して、延べ452回の利用実績があったが目標を達成することができなかった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き共同配車事業を行うことで、障害者の自立と社会参加の促進を図っていく。	

事務事業実績測定調書

10210010032	北河内ブロック障害者福祉研究会負担金交付事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41. 障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1991 (H03) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	おおむね2か月に1回程度の研究会及び外部講師を招いての講演会などを開催実施することにより、職員の資質が向上している。				
事業概要	北河内7市の障害福祉担当職員が共通の課題等について研究し、資質向上に努める。 おおむね2か月に1回程度の研究会及び外部講師を招いての講演会など。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加職員のうち、「資質が向上した」と感じている割合 【算出式:】参加してよかった後回答した人数/参加者人数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5	5	5
■事務事業の総計(千円)	792	800	807
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	792	800	807

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	北河内7市で共通の課題について研究し、理解を深めることができた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も法や制度の改正等が見込まれることから、円滑な制度運用のために、北河内7市で共通の課題について研究し、理解を深め、市民サービスの向上に繋げていく。	

事務事業実績測定調査

10210010034	重症心身障害者宿泊訓練補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名	重症心身障害者宿泊訓練事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	枚方市重症心身障害者宿泊訓練補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	指定障害福祉サービス事業所(生活介護)が宿泊訓練を行うことにより、重症心身障害者が自立した地域生活が実現できている。				
事業概要	指定障害福祉サービス事業所(生活介護)を運営する者に対し、重症心身障害者宿泊訓練補助金を交付することにより、在宅で暮らす重症心身障害者の自立した生活ができるよう支援する。 重症心身障害者が1/2以上在籍する日中活動系の市内の事業者が行う宿泊訓練に対し、40万を限度に補助金を交付する。訓練は1回あたり2人以上で、年10回以上実施すること。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	訓練を受けた者の数のうち、地域生活における新たなサービスの利用等を開始等に繋がった人数【新規人数/訓練実施人数 ×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	20	20	20		
実績	20					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.01	0.01	0.01
正職員数	0.01	0.01	0.01
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	79	80	80
正職員人件費(換算額)	79	80	80
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	374	388	344
■事務事業の総計(千円)	453	468	424
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	453	468	424

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	令和元年度 訓練実施事業者数 1件、訓練回数10回	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	本事業の振り返りを行い、事業の目的等に照らして、効果や問題点等について検証が必要な時期である。	

事務事業実績測定調書

10210010036	市立くすの木園民営化事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		～		
根拠法令等	枚方市くすの木園条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民間活力の導入により、経営の安定化及びサービス向上が図られている。				
事業概要	指定管理により運営している施設を民営化し、経営の安定化、サービス内容の拡充を図る。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	アンケートにおける利用者及び保護者の満足度					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	90.3					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.75	0.75
正職員数	0.00	0.75	0.75
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	5,963	6,013
正職員人件費(換算額)	0	5,963	6,013
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	3,077	4,283
■事務事業の総計(千円)	0	9,040	10,296
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	9,040	10,296

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	113.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	令和2年4月の民営化に向け、前年度から引き続き第3回審査会を6月に開催し、募集要項、選定基準等の審議を行い運営法人の公募を行い、応募があった2法人のうち運営法人が「社会福祉法人花の会」に決定した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年4月より「社会福祉法人花の会」による運営が開始された。	

事務事業実績測定調書

10210010040	障害者総合支援法に基づく地域生活訓練事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、枚方市地域生活訓練事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な障害福祉サービスの給付等と併せて実施、障害者の適正に応じ、地域における日常生活又は社会生活が営むことができる。				
事業概要	精神障害者がグループホームを体験利用することにより自立した日常生活を目指す。 (居宅生活における自立を支援する生活サポート及び精神障害者を対象にグループホームの体験利用する地域生活訓練、精神科病院に社会的入院をしている精神障害者等の退院促進。)				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	地域生活訓練事業に対する利用満足度 【算出式:グループホーム入居者/サービス利用者×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	50	50	50		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	1.55
正職員数	0.00	0.00	1.55
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	12,426
正職員人件費(換算額)	0	0	12,426
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	3,919
■事務事業の総計(千円)	0	0	16,345
国庫支出金	0	0	1,959
府支出金	0	0	3
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	14,383

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	精神障害のある方の制度利用や日常生活に係る相談に対応した。 1人3日利用し、その後11月28日よりグループホームに入居した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	地域で生活する精神障害者に対し、精神保健福祉士を相談窓口配置することにより専門的な立場から相談・助言を行い、精神障害者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図る。	

事務事業実績測定調書

10210010041	障害者総合支援法に基づく意思疎通支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	41.障害者が自立して生活できるよう、社会参加の促進に向けたさまざまな福祉サービスの充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度～		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、枚方市意思疎通支援事業実施要項、枚方市重度障害者入院時コミュニケーション支援事業実施要項				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な障害福祉サービスの給付等と併せて実施、障害者の適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活が営むことができる。				
事業概要	意思疎通困難な障害者に対する支援者の派遣(手話通訳、要約筆記、入院時コミュニケーション支援) 意思疎通困難な障害者を支援する者の養成(手話通訳、要約筆記、点訳、音訳、専門性の高い意思疎通支援)窓口における手話通訳者の設置。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	事業利用者の困りごとの軽減度 【算出式:派遣利用実人数/聴覚2級以上×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	33	33	33		
実績	28					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	1.68
正職員数	0.00	0.00	0.88
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.80
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.80
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	7,055
正職員人件費(換算額)	0	0	7,055
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	12,074
■事務事業の総計(千円)	0	0	19,129
国庫支出金	0	0	5,905
府支出金	0	0	2,950
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	10,274

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	85.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>2019年度の手話通訳派遣事業の派遣者数は1,235人、派遣時間は2,071.75時間の実績があり、また、要約筆記者通訳事業は、派遣者数44人、派遣時間は、144.5時間であった。</p> <p>その他、手話講習会、手話ステップアップ講座を開催し、手話通訳者のレベルアップを図ったほか、点字講習会、音訳講習会、要約筆記体験講座を開催した、また、スポーツ・レクリエーション教室(卓球・ボッチャ)を実施し、合計2,136人が参加した。</p> <p>※フライングディスク教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>入院時コミュニケーション支援事業の派遣者数は、5人、派遣時間は22時間の実績があった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	障害福祉サービス等を利用し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、今後も各種事業を実施する。	

事務事業実績測定調査

10210020001	精神保健推進補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	42.障害者が地域で安心して暮らせる環境をつくるため、障害への理解の促進や地域との交流の場の提供を図ります。	
	実行計画事業名	障害者理解促進・地域生活支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1973 (S48) 年度		～		
根拠法令等	精神衛生都市宣言、決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	啓発事業により、精神障害に関する市民理解の向上が図られている。				
事業概要	精神障害者当事者を中心にふれあい交流事業、ゼミナール、講演会、映画会、こころの電話相談員養成、こころの電話相談などを実施している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	精神障害に関する市民理解度の進展 【算出式:前年比】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	10	10	10		
実績	2.26					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	10,773	11,332	11,553
■事務事業の総計(千円)	11,167	11,730	11,954
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,167	11,730	11,954

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	60.00%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	枚方市精神保健推進協議会の運営を通じて、関係機関、団体との連携を図りながら行う精神保健福祉関連の普及・啓発事業に対して補助金を交付した。	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	精神保健福祉に係る啓発事業は同種の他事業もあり、保健所で行う地域保健、精神衛生に係る業務でもあることから、事業の見直しが検討される。また、ボランティア団体への補助事業も含まれていることについて、整理する必要がある。	

事務事業実績測定調査

10210020002	大阪ふれあいキャンペーン事業負担金交付事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	42. 障害者が地域で安心して暮らせる環境をつくるため、障害への理解の促進や地域との交流の場の提供を図ります。	
	実行計画事業名	障害者理解促進・地域生活支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1983 (S58) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「障がい者週間」の趣旨が広く周知されることにより、障害者を取り巻く課題について正しい理解と認識がされ、障害者の社会参加と自立ができる地域が実現されている。				
事業概要	府、市町村及び福祉団体が構成する実行委員会を結成し、街頭での啓発活動、啓発物の配布等を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	啓発物の配布数(折り紙、メモ等)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	枚
目標(予測)	—	1,500	1,500	1,500		
実績	1,500					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.04	0.04	0.04
正職員数	0.04	0.04	0.04
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	315	318	321
正職員人件費(換算額)	315	318	321
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	63	63	63
■事務事業の総計(千円)	378	381	384
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	378	381	384

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	中核市移行に伴い、平成26年度より大阪ふれあいキャンペーン実行委員会の検討会議の事務局メンバーとなり、令和元年度は実行委員会に1回参加した。また、啓発活動、啓発物の配布を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	継続して実施する。	

事務事業実績測定調査

10210020003	地域活動支援センター事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち	
	取り組みの方向	42.障害者が地域で安心して暮らせる環境をつくるため、障害への理解の促進や地域との交流の場の提供を図ります。	
	実行計画事業名	障害者理解促進・地域生活支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		～		
根拠法令等	障害者総合支援法、障害者基幹相談支援事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害者の社会との交流の促進を図り、良好な地域生活が実現されている。				
事業概要	<p>障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに社会との交流の促進を図り、障害者の地域生活に必要な相談や情報提供を行う。</p> <p>地域活動支援センターⅠ～Ⅲ型の事業所に委託をして実施。 委託事業所数 地域活動支援センターⅠ型(地域の社会基盤との連携強化のための調整等を実施) 6か所 地域活動支援センターⅡ型(雇用・就労が困難な在宅障害者への機能訓練等のサービスの実施) 1か所 地域活動支援センターⅢ型(利用者へ地域の実情に応じた支援を実施) 1か所</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	地域活動支援センターの利用満足度(平均) 【算出式:利用者数前年比】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	1	5	1		
実績	-3.2					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	149,700	149,700	152,308
■事務事業の総計(千円)	150,487	150,495	153,110
国庫支出金	20,250	20,250	21,553
府支出金	10,125	10,125	10,776
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	120,112	120,120	120,781

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	
事務事業の実績	<p>地域活動支援センター(市内8箇所)で、手芸や料理などの創作活動、農作業、園芸などの生産活動の機会の創出、パソコン教室等の開催、サロン等の提供により居場所の確保及び交流の促進、相談支援等を実施。</p> <p>地域活動支援センター(8か所)年間延利用者数:37,842人 相談支援事業における継続的な支援利用者数:7,582人</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、障害者や障害児が地域で安心して日常生活、社会生活を営むことができるよう、地域の中心的な相談支援を実施する。	

事務事業実績測定調査

10211010007	障害者差別解消事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11. すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	43. すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	障害者差別解消法、枚方市障害者差別解消支援地域協議会設置要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市障害者差別解消支援地域協議会」での協議により、障害を理由とする差別に関する相談や課題解決の取り組みが進められている。				
事業概要	平成28年4月より、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」が施行されることに伴い、「枚方市障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、紛争解決に至った事例や、合理的配慮の具体例の共有・分析を通じて、事案の発生防止のための取り組み及び周知や啓発活動に係る協議等を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	障害を理由とする差別に関する相談等の課題解決率 【算出式: 課題解決数/相談等の課題数 × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	50	50	50		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.20	0.20
正職員数	0.20	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	1,590	1,603
正職員人件費(換算額)	1,575	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	29	20	0
■事務事業の総計(千円)	1,604	1,610	1,603
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,604	1,610	1,603

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>障害を理由とする差別の解消を効果的に推進するため、令和2年3月に枚方市障害者差別解消支援地域協議会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため延期となった。しかし、概ね月1回事務局会議を開催し、相談事案に対する検討や、情報等の共有・収集をおこなった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>関係行政機関、各関係機関・団体において対応した相談事案等を事務局である障害福祉室に報告する仕組みづくりを行う。</p>	

事務事業実績測定調書

10211020005	障害者虐待防止対策支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	44.配偶者等からの暴力(DV)や、高齢者、障害者などへのさまざまな人権侵害に対し、関係機関が連携しながら支援の充実を図ります。	
	実行計画事業名	障害者虐待防止事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		～		
根拠法令等	障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律、枚方市障害者一時保護事業実施要綱)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	虐待通報・相談があった場合、相談内容を関係機関で構成する障害防止ネットワークで検討し、虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、擁護者に対する支援が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 虐待の通報・相談・届出の受付から対応までをおこなう「障害者虐待防止センター」を平成24年10月より設置。また、障害者虐待防止ネットワークの構築を目的に関係機関会議の設置を要領で制定。 緊急避難場所を「枚方市障害者一時保護事業」で実施。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	支援につなげた結果件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	5	5	5	5		
実績	5					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.50	0.46	0.46
正職員数	0.50	0.46	0.46
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,937	3,657	3,688
正職員人件費(換算額)	3,937	3,657	3,688
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	120	49	156
■事務事業の総計(千円)	4,057	3,706	3,844
国庫支出金	59	207	76
府支出金	29	12	37
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,969	3,487	3,731

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>虐待通報・相談に対して、関係機関と連携しながら、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、擁護者に対する支援を実施した。また、迅速かつ適切な対応を可能とするため、関係機関とのネットワーク構築を目的とした関係機関会議を1回開催した。なお、障害者虐待に関する相談件数は、72件であった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、虐待の早期発見・早期対応に加え、障害者虐待の未然防止のために関係機関との連携強化、広報・啓発活動に取り組む。	

事務事業実績測定調書

10999990041	地域健康福祉室 障害福祉担当運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000110	健康福祉部地域健康福祉室 障害福祉担当
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害福祉担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.35	8.10	4.36
正職員数	5.13	4.65	2.76
非正規職員数(計)	0.22	3.45	1.60
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	2.00	1.60
臨時職員数	0.22	1.45	0.00
■人件費総額(千円)	40,814	43,465	22,127
正職員人件費(換算額)	40,394	36,972	22,127
非正規職員人件費(計)	420	6,493	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	3,662	0
臨時職員人件費(実額)	420	2,831	0
■直接経費(千円)	20,315	29,613	82,078
■事務事業の総計(千円)	61,129	73,078	104,205
国庫支出金	0	0	3,728
府支出金	238	223	220
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	27	27	27
一般財源	60,864	72,828	100,230

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	
事務事業の実績		
今後の方向性		
具体的な 今後の取組方策		